キャラクター名
影踏　闇珠（かげふみ　あんず）

プレイヤー名

シンドローム	ウロボロス ノイマン	ワークス	UGNエージェントC	カヴァー	中学生
オプショナル		年齢	14	性別	女
覚醒	生誕	衝動	解放	初期侵食率	38 %
出自	疎まれた子	経験	大勝利	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	5	1	3			9
社会	1	0	0			1

HP	31
行動値	11
(非装備時)	11
戦闘移動	16
全力移動	32

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	4		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転：			芸術：			知識：	4		情報：UGN	3	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
滅槍撃"白"	ＲＣ	9r+4		7		1+2+4　侵食値+5
滅槍撃"真"	ＲＣ	9r+4		19		1+2+3+4+6 侵食値+9
滅槍撃"空"	ＲＣ	10r+4		19		1+2+3+4+6+7　侵食値+9
80%↑絶槍撃"掌"	ＲＣ	11r+4		19		1+2+3+4+6 侵食値+9

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
Ｄロイス	P	N		
Ｓロイス奏多　美香	P　庇護	N　不安		
玉野椿	P　友情	N 猜疑心		
不知火アミーリア	P 幸福感	N　恐怖		
安藤竜泉(タイタス)	P 連帯感	N　不安		
十村　みと(タイタス)	P　感服	N　憎悪		
女教皇（タイタス)	P 親近感	N　恐怖		

最大財産P:　4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ｺﾝｾﾝﾄﾚｲﾄ(ｳﾛﾎﾞﾛｽ)	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：ＣＬ値ーＬＶ								
オウガバトル	1	2	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：攻撃のダメージを+(LV+2)								
喰らわれし贄	1	1	オート	至近	自身	自動	1S/1	
効果：対象にﾀﾞﾒｰｼﾞ与えた際、次回より攻撃力を+(LV×3)								
飢えし影	2	1	メジャー	視界		RC	-	
効果：影踏み！攻撃。射撃攻撃力+(LV+2)								
原初の黒	★	-	-	-	-	-	100%	
効果：取得：フルインストール。基本侵食値+3								
螺旋の悪魔	3	3	ｾｯﾄｱｯﾌﾟ	至近	自身	自動	-	
効果：攻撃力+(LV×3).自身に暴走付与								
レックスレスフォース	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果：暴走状態の時、判定ダイス+LV個								
天才	1	1D10	オート	至近	自身	自動	1SL/LV	
効果：あらゆる判定の達成値に+精神								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

遠い昔、母が言った
「お前は『普通』じゃない。二度と顔を見せるな！」

遠い昔、父が言った
「お前は『化け物』だ！生まれてこなければよかったんだ。」

そう、彼女は紛れもなく『異常』だった。
生まれた時から、周りの大人と遜色の無い言葉を話し。
３歳の時に、高校過程の学業を修め。
５歳の時に、大学院レベルの学業を修め
中学には、この世で解けない問題は無くなった。
それも学業に限った話ではなかった。
野球を１度見れば、プロ野球選手となんら遜色の無い動きをし
銃を一度見れば、訓練された兵士よりも上手く扱えた。

そうして誰も彼も彼女の才能を恐れ嫉妬し疎んだ。実の親でさえも。そうして一人になった彼女は生きる為に何でもやった。騙して、盗んで、殺した。時にはＦＨのエージェントとして任務にも出た。
そんな中、ある任務についた。"シルクスパイダー"とＵＧＮの科学者"奏多 明之"の抹殺だった。
しくじるはずが無いと思っていた。エージェントだけならまだしも一般人連れなのだから。
そして、"シルクスパイダー一行"と相対した。そして負けた。決して自分より身体的にも技術的にも強い訳では無かったにも関わらず。

遠い昔、ある科学者が言った。